

7 段階的対策計画の策定

町田市においては、雨水管理方針に基づき一般地区においては河川整備にあわせた50mm/h対応、重点対策地区においては流域対策としての65mm/h対応を目標とした雨水管整備を進めることとします。

7.1 段階的対策スケジュールの設定

段階的対策方針として、重点対策地区の 카테고리ごとに、事業費や整備する施設の規模などを勘案しながら、対策を優先的に行う必要がある地域の中での順位付けを行い、短期から中期に分けて整備を進めることとします。

表 7-1 段階的対策スケジュール

区分	地区	計画期間	対策メニュー	工種	2023	2024	中期										長期														
					R5	R6	短期					R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31
							2025	2026	2027	2028	2029																				
							R7	R8	R9	R10	R11																				
雨水管理総合計画の見直し																															
重点 対策 地区	日向台交差点北側	短期	・新設 φ700 L=2.5m ・新設 φ900 L=14.2m ・新設 □1900*1500 L=7.5m ・新設 □2500*1500 L=8.2m	調査・設計・工事	→	→	→	→	→																						
	南町田五丁目（Ⅱ工区）	短期	新設 269m	調査・設計・工事				→	→	→																					
	忠生一丁目	短期	布設替え 196m	調査・設計・工事					→	→	→																				
	境川団地中央交差点周辺	中期	・貯留施設 21,000m ³ ・付帯施設 φ1000 L=20m φ1000 L=49m ・布設替え φ1200 L=183m ・布設替え φ1500 L=11m ・布設替え φ1000 L=81m ・フラップゲート 4箇所	調査・設計・工事						→	→	→	→	→																	
	小山小学校周辺	中期～長期	【公共施設】 ・貯留施設（小学校校庭） 14,000m ³ ・貯留施設の連絡管 φ1000 L=59m φ600 L=65m ・新設（バイパス管） □1600*1300 L=32m □2500*1300 L=14m ・新設 □2200*1300 L=42m ・新設 □1100*1100 L=220m ・布設替え □2500×1300RC L=205m 【民間施設】 ・貯留施設 1,000m ³ ・貯留施設の連絡管 φ1000 L=8m φ600 L=26m ・貯留施設 10,000m ³ ・貯留施設の連絡管 φ1000 L=62m φ600 L=115m	調査・設計・工事								→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→				
	南大谷小田急高架下周辺	長期	布設替え 135m	調査・設計・工事										→	→	→															
	坂本橋交差点	長期	新設（貯留管） 460m	調査・設計・工事												→	→	→	→												
	馬場交差点	長期	新設（貯留管） 290m	調査・設計・工事													→	→	→	→											
	町田駅および市役所周辺	長期	布設替え 161m *「町田駅周辺開発推進計画」との整合性図りながら事業を進める	調査・設計・工事																		→	→	→							
	町田消防署周辺	-	降雨時における調整池内の水位監視	調査・設計・工事				→																							
	南町田五丁目（Ⅰ工区）	-		調査・設計・工事	→	→	→																								
	一般 地区	鶴間第二排水分区 【リスク評価S】																				→	→	→							
大蔵排水分区 【リスク評価S】																						→	→	→							
原町田排水分区 【リスク評価A】																							→	→	→	→	→	→			
高ヶ坂排水分区 【リスク評価A】																								→	→	→	→	→			
つくし野排水分区 【リスク評価A】																								→	→	→	→	→			
忠生排水分区 【リスク評価A】																								→	→	→	→	→			
その他	藤の台団地周辺	-	新設 φ1200 L=220m	調査・設計・工事		→	→																								
	全域	-	・降雨時の主要な吐口の水位監視（暗視カメラ等の管 きよ内設置） ・降雨時の調整池内の水位監視				→	→																							

段階的対策計画による対策前後のシミュレーション結果図



凡例 (カテゴリー別浸水深)	
図示	適要
■	20cm未満
■	20cm以上45cm未満
■	45cm以上

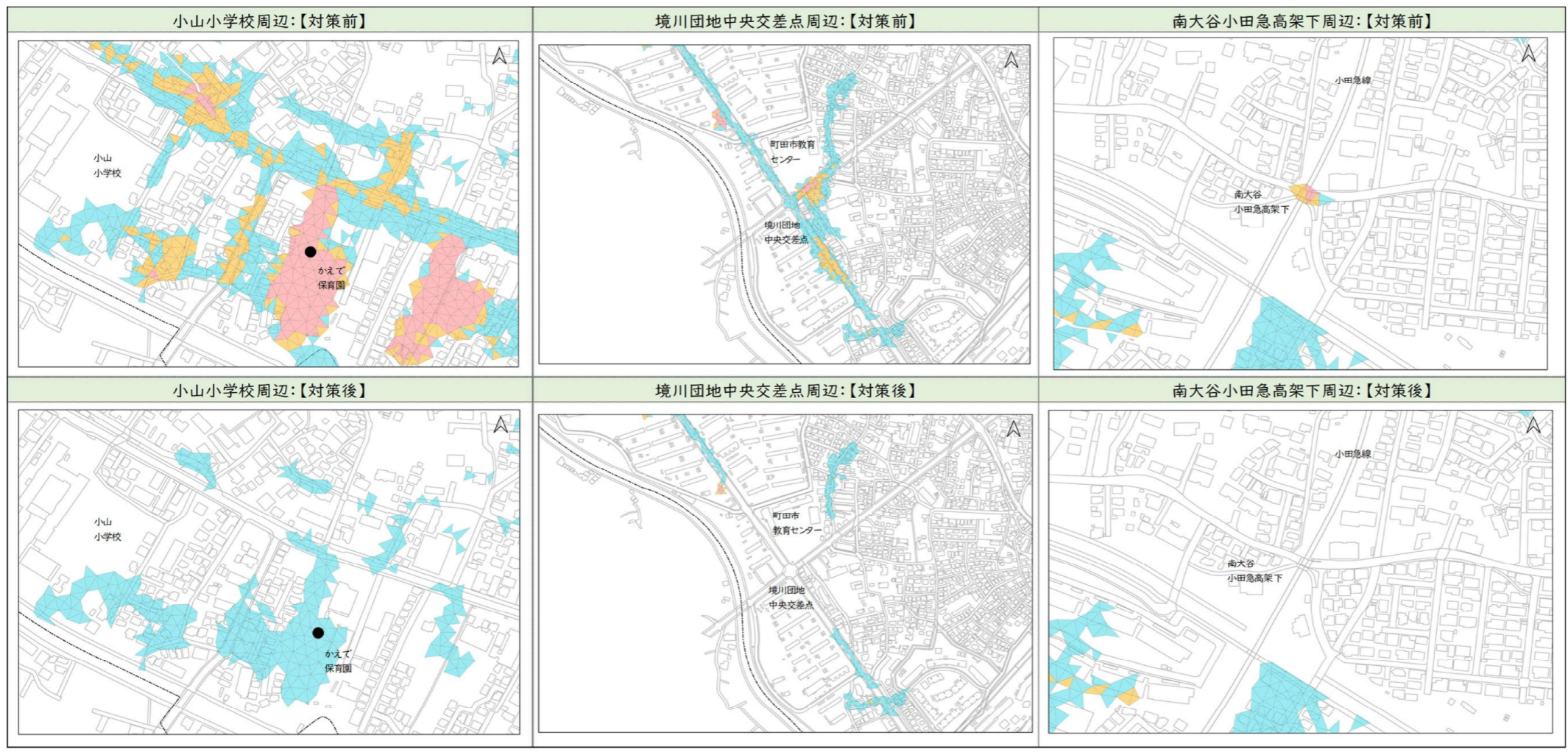


図 7-1 段階的対策計画による対策前後のシミュレーション結果図

8 雨水管理方針マップ

段階的整備計画により整理した条件等を雨水管理方針マップとして図 8-1 に示します。

雨水管理方針マップ

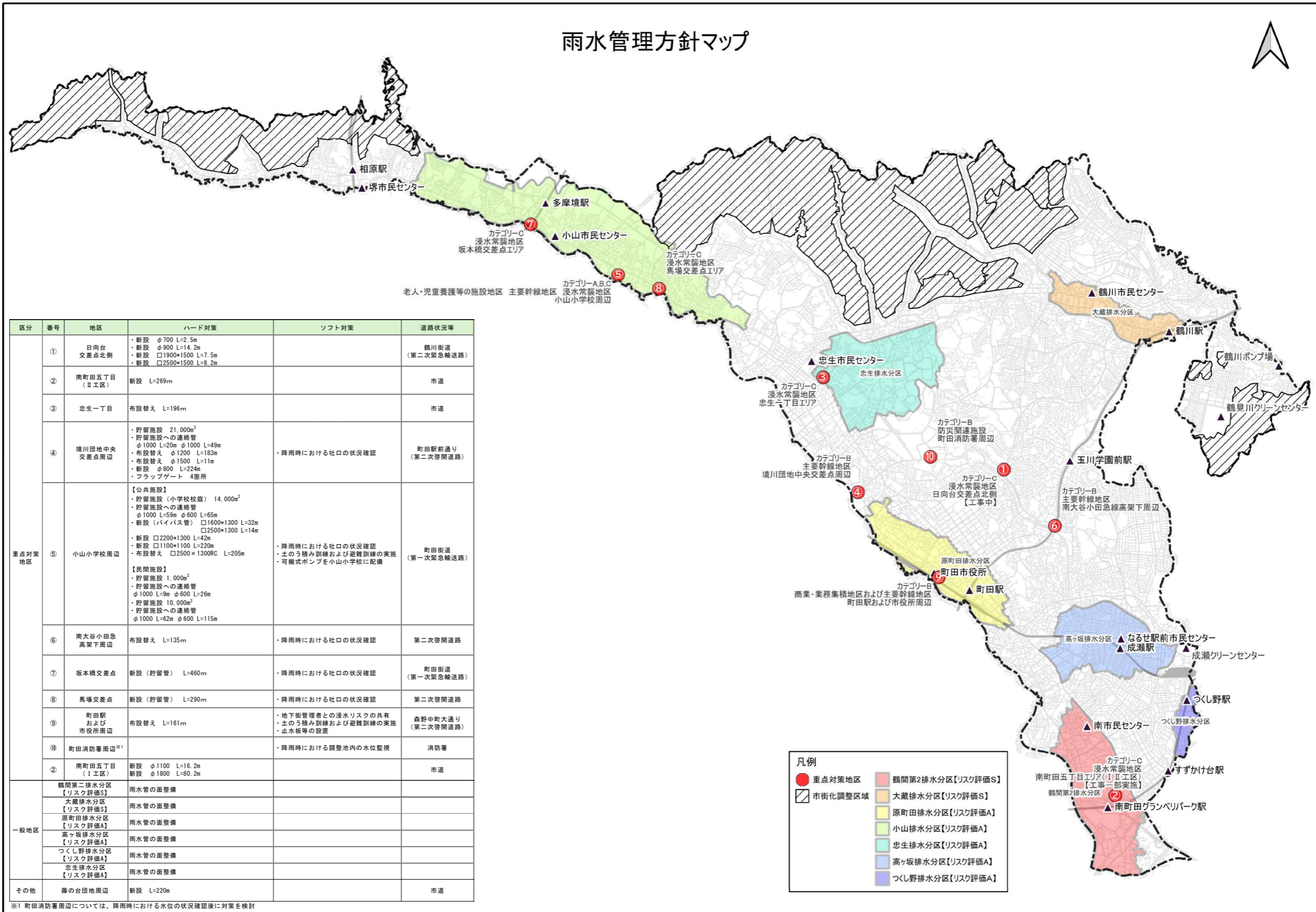


図 8-1 雨水管理方針マップ

9 用語集

○雨水管理総合計画策定ガイドライン(案)
雨水管理総合計画策定ガイドラインは、雨水管理総合計画を策定するにあたり、国土交通省で実施したフィージビリティスタディ（FS）等の具体的な事例を交えながら、雨水管理方針に定めるべき事項や検討フローや段階的対策計画の基本的な事項について示すもの。 なお、本ガイドラインについては、今後も各都市での取組や知見を踏まえ、随時内容の充実を図っていくこととしている。
○雨水管理総合計画
下水道による浸水対策を実施する上で、当面・中期・長期にわたり、下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定めるもの
○下水道事業計画
概ね5～7年の間で実施する予定の事業内容などを定めた計画で、各施設の規模などが定められている下水道法の法定計画
○市街化区域
都市計画法に規定されている都市計画区域の一つで、既に市街地を形成している区域または、おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域
○市街化調整区域
都市計画法に規定されている都市計画区域の一つで、市街化を抑制すべき区域
○都市機能集積状況
人口密度や災害医療拠点病院数などの指標を元に排水分区ごとに都市機能の集積状況を数値化したもの
○重点対策地区
浸水対策の目標である「人命の保護」、「個人財産の保護」、「都市機能の確保」の観点より、緊急度、重要度が高い地区
○計画降雨
雨水流出解析や浸水対策検討などに使う具体的な降雨データ（降雨強度や継続時間）
○目標降雨
浸水被害の発生を防ぐべき目標となる降雨のこと
○吐口
下水道施設から処理水や雨水を公共用水域に放流する放流口の施設のこと
○ソフト対策
ハード対策と並行して実施することで、浸水被害の軽減を図るもの ソフト対策には、公助による「維持・運転管理の強化、情報収集・提供及び自助・共助への支援」と自助・共助による「市民自らが実施する、ますの清掃、防災訓練への参加、土のう積み」などがある
○ハード対策
施設そのものによる浸水対策のことで、下水道事業による管路施設やポンプ場などを整備して、雨水を排除する対策のこと
○貯留施設
降った雨を一時的に貯留する施設で、河川に流出する雨水を抑制する施設
○浸透施設
雨水を地下に浸透させ、河川への雨水流出量を抑制するもので、浸透ます、浸透トレンチ、透水性舗装などの種類がある
○止水板
地下道や建物へ雨水が流入するのを防ぐために、出入口などに設置するもの

○グリーンインフラ
自然環境や生態系の機能を活用して、都市や地域の持続可能な発展を支える仕組みや取り組みのこと
○自助
自分の身を自分で守るために、災害に対する備えや災害時の対応を個人で行うこと
○共助
災害時に近隣や地域の方々とお互いに助け合うこと
○段階的対策計画
雨水管理方針で策定した方針に基づき、計画降雨に対するハード対策、ソフト対策及びスケジュールを位置付けた計画